

# 碁老連 ニュース

\*106号

## 碁老連の目的

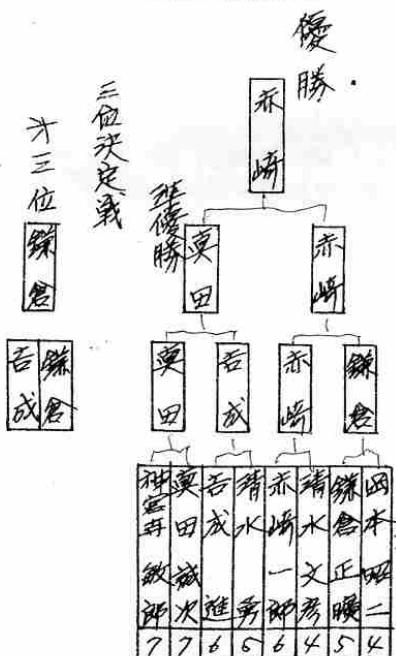
歩行防止のために、老人用藤同好者の誰もが  
「碁を樂じむ」といふ出来らう、機会と場所  
を確保するために相談なし、用碁を通じて親睦  
を図り、更には、より良き福祉社会の建設に貢  
献することを目的とする。

発行日 平成10年11月13日  
発行所 八王子の碁を樂じむ老人連合  
〒193 八王子市初沢町1434-16  
TEL (0426) 66-3754  
发行人 熊崎正一

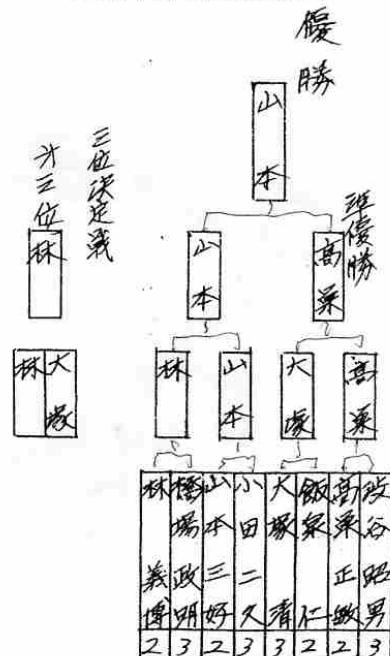
## \*9回碁老連囲碁大会

日 時 平成10年10月25日午前9時  
会 場 総合福祉センター(東狭川町554-1, 電67-1331)  
主 催 八王子の碁を樂じむ老人連合(碁老連)  
後 援 八王子市、八王子市教育委員会、日本棋院  
参加資格 碁老連会員に限り  
参加費 700円(弁当代を含む)  
競技方法 37ラウンド別に入賞者(3位まで)を決定し、賞状と授与する。  
競技成績 2次の通り

### Aクラス決勝戦



### Bクラス決勝戦



## A77次(4歳以上)成績表

順位統人

1210312311112002	12	2	20	122	2221
X0XX④X000X×X00X×X0X	0X	0	0X	X0X	0000
松田佐倉不山小波豊嶋國源山佐中浦田東矢野千代延白片鍛矢不梅國山本					
藤義重喜山園田深西本田田村田内田園村田東矢野平石山倉島高次郎					
0XXX0000X×X×X×X0X0X	X0X	X×0X	0X000X×X		
石川豊近片白山浦小林松義善佐山野田赤嶽松藤神梅大嶋三江山					
谷本木本木水橋藤義善井口本崎日浦村吉田原田上口内					
X00X0X0X0X0X0X0X0X0X	X0X	00XX	X00X0X00X		
大城豊新国崎清奥佐倉佐山波坂坂口山崎紅葉山松義天木小野松早八福國山					
水木久藤木本					
川野田保本(宮)山木田健徳田山木川下井口井不坂田義英川口神川木田村保					
66.65.63.62.61.60.59.58.57.56.55.54.53.52.51.50.49.48.45.44.43.42.41.40.39.38.37.36.35.34.33					
大新豊清國奥徳倉佐山佐西藤紅波伊山江藤根義松大木喜小早松福八山國					
野川保田木新山水田木木藤山田川木田下口井本田谷保井口川川端田木深行					
坂井孔弘文隆和弘徳喜義宏義則清忠義池高春義辰義文吉					
町男次佑彦男東勇牧明美吉二義秋勝勲文義明義紀尾夫義博勇泰寺義光雄人					
56544465446544654456767676767676766445567676767664455					

## B77次(2歳・3歳)成績表

順位統人

2211211210302121030221013003211222212
00
高石若橋川吉佐藤久藤神後石小坂高橋山小笠老片木阿良義鶴田園
橋本藤本高源義田川新浦田保森田木井田谷(重)本浦手屋林國部村場戸
X×X×X×X×X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0
大新施若平地川横佐城杉山霧山木山米不植藤佐倉長安福水吉柳石若宜
木老藤本戻本戰谷穀德
木東天林田田田不是本白生綱(重)松田藤田篠原本野田原川田原
00X0
紅山阿波岩呂木利藤吉花木山須山藤小絆相良坂敏寅久吉深田佐理
藤森田庭川(重)村藤森井原川田谷泉戸保井足藤田森
22.65.68.67.66.64.63.62.61.60.59.58.57.56.55.54.53.52.51.50.49.48.47.46.45.44.43.42.41.40.39.38.37.36.35
小向山紅葉岩松中藤和紅葉木高源八片山小藤相良坂安國飯石久在城地佐藤志
種井田口義達田鳥村湯田川國新橋村木國源寺森川原谷田中泉井保嘉定田藤萬林
久病不忠倫清健政平正敏篠三健次篠之昭始一義方久文博近
幸博美雄進善史雄一明雄草雄二草雄御彦宣喜彰木男実郎仁二宏武悟莫生
22322333232222232322223232323232323232333223

(2)

大項人総人

A 77人(4段以上)成績表

多選

330	111	1311	232111	321322	11221	計数
00X	0XX	X00X	00XX	0X000X	0XX0X	四段
金城	牧山	美江石田	松三神奥小大	川吉大山新若木	佐根岡野福	三回戦
川	野下大地区	川山	田上寺山川川	(国)成東御保溝本	木本本立田	対局者
00XX	XX00X	X00	0④00X	00X000	XX000	五段
長江松木莫早牧田南國	中不新佐浦不	根八與小山大	福波佐倉城			二回戦
田山田豊田川野村地村村	城	藤水城	本木山川下川	田本木田	対局者	
00XX	00X0X	XX	X00X0X	00X0X0	X00XX	一回戦
赤坂牧田	松橋中東	十音南八小内片	三佐神	高嶋白山	林井	対局者
原	城	野	安	藤路高体	木谷	
新野倉村	田	筑村田深山城地西	山木	船田丘田	山	対局者
323130292P2926252423222020191A19161514131211109	87654321	142				
赤坂牧田梅松東中山竹菊若山小片内音岡三延禪	佑谷	峰喜山白木	喜			参
崎倉野	村筑田田村外南地成木西山山藤木	上平寺藤	木田橋本石島谷	辰		加
一正善大和礼藏義教喜義喜喜	高則	喜昭	高金信	洋喜		名
一郎敏男昭彦若次作夫森郎進三俊郎志英二宏兒郎志造	志明	志透	美照男	裕治		者
765477447644566644446596444644646	44644646	4段				
		年				

✓

大項人総人

B 77人(2段・3段)成績表

多選

311	212	22213023220202312121131012	1回戦
0XX	0XX	00XX④X00000XX0000XX0X0X0XX0	四段
山都山	木森江野	西岡水銀佐不長東不延相	川山植物鶴大和岩城千倉石喜
崎走	久	木城本	喜
施家田	四口景	根野泉不鳥辺不田川植	柳松木生麻田田庭川東
0④0	0X0X0X0XX00000X000X00XX00X0X0	五段	
松不	雨山知馬小市	金安岩相久石山新開飯石中嶽新穂藤賀	喜兩大若
底崎	田	木	林
萬國	田場體川木田壁川保井田部戸集橋島形屋各藤田田原	喜	
0XX0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0X0	六段		
東小	横吉横佐豆天長中森	水呑萬福藤安藤萬福大福倉	山形鳴山酒小
岐	平	走谷	米
迎甲田田田木原大島	野田野	野原木屋木調生	宮崎郡
3433323130292A2926252423202120191A19161514131211109	87654321	142	14
小莫告藤佐福大藍	中長平森益水	喜高輪大賀倉植山	新市林鳴利西山
田切田田木原島	野	木橘不振生田松崎昌川	根不喜崎次本
二保利慶	表辰井孝豊喜正哲	良健	國隆義俊三
久早男翁兆正英弘海輪之夫好故	一郎清男君修誠	一郎	三男繪昭林
3222222323232332222223232322323222223232	3段		

(3)

(生)



## 活動方針に与違ひが生じ、御心配をかけました。お詫びを申しせま。

否早の年頭の所感と、終戦後、アメリカの占領政策以来、日本の伝統的文化を破壊し、人权と民主主義を破壊し、最近では、日本の最後の砦である官僚機構を攻撃したこと、マスク三を始め、全国の午後を講じて、露骨な差別攻撃を開始している。

終戦以来、今まで、日本の屋台骨を打つて、終洋水田日本を実現させた功労者的世界一優秀な日本の官僚機構などと確信をもつて前進致しました。と率いておりました。然るに、本年初頭より、新聞や雑誌関係の轟動は、益々エスカレートし、遂には、練習水道を鮮明に追い込み、更に、調子に乗つたマスク三連署は、現小説内閣にむ、不遜な攻撃を継続行なつてゐる。

従つて、今回、朝日新聞社(小生は、昭和10年以来、継続してお取扱者)に対する質問状を提出せよう灰次第です。その理由の要項は次の通りです。

1. 昨年の年頭沙塵で申し述べて有りましたが、「初夢」で「次の3件に關し、積極的底辯書を用意されば、心が」、「予定通りの結果が期待出来る」と云ふものでした。

- (1). 入会式に開幕御用被を運営する運動。(2). アジア全国農人団体大会の開催。
- (3). 日本在農人朋友の会(昭和38年の3回目の夢)の実現。

以上3件に關し、昨年末より次のよう本格的取組運動を開始する予定でおりました。

- (1). 9年11月12日八重山農業組合連合会(実施)
- (2). 9年12月16日原生水道小泉純一郎殿(実施)
- (3). 9年12月18日總務部長室小堀達利殿(実施)
- (4). 10年5月8日文部水道町村協議殿(実施)
- (5). 10年6月8日沖縄県農業振興十浦殿(実施)
- (6). 10年11月(予定)首相橋本龍太郎殿
- (7). 10年11月(予定)経済団体連合会会長殿

以上の通り、最後の仕上がりは、橋本首相に沖縄小島を予定ではなし、諦めざるを得ません。

2. 年暮大河個人的反脚指導を頂いていた方より次のようアドバイスが有りました。

- (1). 斎田通川に連行される。
- (2). 総相連会長殿免職願書(9月11日付で作成し、ニュースで先発表(未だ)休業の中止)。
- (3). 朝日新聞社に対する質問状を提出し、即返事を求めて、対策を検討の方。

(即既に從つて、従来通りの新曲を推進する方に致しました。)

10月15日付で、朝日新聞社社長殿免職問状を作成し、ニュースで先発表(未だ)、不覚上も10月13日に足首を骨折し、書類を手に持てることが出来なくなりましたので、已立ち得ず、締切を10月31日付にて延期し、「追加質問状」を11月5日付で作成(未だ)終しました。依然、關係で、昨11日に10月15日付と11月5日付の2通り押掛けました

以上のような経緯と併せておりましたが、開幕と直接關係のない「朝日新聞社に対する質問状」(日本在農人朋友の会)の件など、甚快速ニュースに掲載万能など、誠に甲狀奈い次第と、心から御詫びを申し上げます。

以上

朝日新聞社  
社長 松下宗之殿



### 10月15日付質問状延期の御説明と追加質問の件

謹啓 質問状送達がうれしい事。

初め、表る10月15日付の御質問状質問件は、持参式お詫びする予定で御札いた所、10月13日に不覚にも足首を痛め、外出不能の状態となつてしましました。

従つて、10月16日以降より1日遅着脳会議位までの御報道を待つて「追加質問状」を作成する予定でお手札いた。

然るに、10月22日の「原子力空母、横須賀配備へ」の記事を掲載した瞬間、又後、強烈衝撃を受け突然と致しました。

即ち、外交的に行動を怠つていけにクリントン大統領は、若しまざれど、日本に対する最後の午後としての「報復並義強行」に踏み切る構えを表明したものと推察致しました。

従つて、日本側としましては、「懇親」になり、「難々い措置」は絶対に禁物であり、「悔いを内蔵に残さない」ように、冷静な対応を求める所が何れにしても、「戦後、最大の危機」との認識の基に「政・官・財・民」が過去の因襲に囚われぬことなく、一致団結して、長期的な対応策を決定し、実施機関を整備万全など、各個体制の確立が望まれ次第です。然るに、貴社では、相次うず「複数性極まる報道が続いているうちから」一括り気にかかる不況条項に因り、重ねて質問申上せられ次第です。

については、この際、貴社に対しては、気分を一新し、世界平和のために立ち上つて復讐を以ての期待を以つての要請であり、貴社を追い詰める気持ちなど先駆かりません。

むしろ、貴社の世界の一流新聞社としての貴重な経験と体制を活用して復讐を以ての意願との質問状を受け止めて下さい。

記

1. 10月22日「原子力空母、横須賀配備へ」(米国防総省具体化検討)  
(本文添付5枚1号)

このことは、アメリカが同盟国日本ではなく、植民地扱いとして反対の方意向を露骨に表明したことと理解致しております。

(6)

従つて、"独立國にっぽん"は當分見込みがあらん。

2,

これま、クリントン大統領が韓国の説得(人材、民主主義の強要)に失敗したための次収束として登場したものと推察しており木方が、如何でこれが、お似い致しました。

2,9月21日「在銀・解説」、「次の進」(アラバマ州新稿全文)

(本文添付S文2号)

大變魅力的本音意見と揮毫致しました。

然しある、「閣の魔王」の規定を脱するところが出来なか、どうかが、難を  
撞つているような気が致しました。

即ち改めて、次の3件の切り抜きを添付致しました。

(1) 10月3日、「ナカシの次、Y連長攻めよ」(本文添付S文3号)

(2) 10月5日、「英へハ復辟在公警戒」(本文添付S文4号)

(3) 特別追加、11月3日「4x-4ル美首相、毒ガス攻撃検討」(本文添付S文3号)

3,12月9日「社説」、「日韓共同宣言」この教化を確かなものに。

(本文添付S文5号)

大變結構で木方が、「從軍慰安婦問題」は無用(後葉口記述)。

前、金水中央統領は、韓国再生の救世主とも云うべきで、日本側としても、理解致して、安心して、全面的に協力すべきではないぞ"よう。

又、どうか云々とが、日韓両国の友情を保める上に於く、ひいては世界平和の為と存るものと確信しております。

然しある、殊獨特切彼に、大變心配底問題が発生致しましたので、次のエロを「特別追加版」とさせて頂きました。

(1) 11月1日「金正日氏、鄭儀と会談」(本文添付特1号)

(2) 11月3日「金正統領、現儀名譽会長と会見」(本文添付特2号)

以上2件は、本人達未判つていないので"よう"が、「閣の魔王」が"裏で"  
操つておられますので、慎重に対応されることが肝要です。

4,10月9日「金大統領の國交復説(概要)」(本文添付S文6号)

文中、「歴史的に日本と韓国の関係が不幸だったのは、約400年前に日本が韓国を侵略した7年間」

条件は、落伍者による朝鮮出兵の事と見られますが、この件についても、10月15日付の眞因狀の本文から「韓が日本史の遺憾」(ニ)"眞因告白"は、カリスマ政界の總帥は某り、朝鮮に無意味な侵略を行ひ、  
と穿し述べておりますので御参考下さい。

この件については、終戦當時、小生が韓国貿易を扱っていたが、親以  
(ア)

3.  
していき韓国の太田商事東洋支店の甲辰彦さん(一橋高商卒)よりお伺いしたお話をうが、同氏は更に「300年近く続いた徳川幕府上に因し、世界でも類例のない準政で、特に、治水事業の功績は素晴らしいと大歓声震わせた」と云ふ。

当時、韓国の有力族方々たり、色々と御説をお伺いしております。

5. 10月19日夕、「日韓共同宣言」 이후、私が歴史的認識の深い講義  
(本文添付Sオフ8号)

日韓首脳が歴史認識について、双方が納得出来るよう仄諭論を検討したことについては云ふ間に隠し、このよう仄諭論を日本側が一方的に発表するなど、「遺策も愚策」極外と云うべきではないでしょうか。

専門家、10月15日付眞因状と申しつけられ、平成10年1月1日の「報知」「日本史の審議」又は2月20日夕、「夕陽在望」のカズ藤原一先生の「問題旧邦上憲、歴史関係の総集について、難問を度じておりますが、如何でしょうか。

6. 1月25日、「ボリティカルにアプロードの『小説首相の正統綱の傷』

(本文添付Sオフ8号)

このよう仄諭論は「早野先生の御意見とは考えられない」立場を立て、先生御自身が、このよう仄諭論に騙されねら、何と思われますか。

7. 10月27日夕、「ルポ、世紀を歩く」伊藤博文射殺、「民族の英雄に床つ立安重根」(本文添付Sオフ9号)

前記の「日韓共同宣言」 이후、私が歴史的認識の深い講義と同じ理由で「タイミングが悪い」と云うことの外に、次のよう仄諭論により、朝日新聞の「取り返しつかない、大失態」など、指摘致しました。

(1) 韓国の歴史では、安重根は、民族の英雄と称しているそうですか。

日本の歴史では、どう称づいていらっしゃるでしょうか。

(2) このルポを讀んだ日本人、特に歴史を勉強していない若い人達が、そのままで直に読み込んでしまうとすれば、日本国としては、大変不貞の目を背負ってしまつてしまふ事になりますが、何らかの対応策を検討してみてはいけないのでないでしょうか。

お問い合わせします。

8. 戦後、マッカーサー司令官部より、「ユ・26事件」に因し、「クーデター」と言う表現が報道で禁止されているように取つておられます。実行されているのでしょうか。如何でしょうか。

9. 戦後、政・米式思想(自由・平等・人権・民主主義など)が普及され、教育勅語による道徳教育が「禁止」となりました。

(8)

4.

其の結果が、世界一の犯罪国家と成ってしまった。

朝日新聞によしましては、このままで良いと思われまいか、先づ日本は日本の伝統的友道義國家の再建を希望されまいか、如何でしょうか。

具体的に御指導下さい。

10、「闇の魔王」による謀略と江崎に上つてから、次の各件に関する貴社の御意見をお伺いしたい。

### 記

- (1)、孝子家の閑王妃「殺害事件」
- (2)、伊藤博文を殺した安重根(クリスチヤン)の銃声一起。
- (3)、韓国及び北朝鮮の徹底的反日教育
- (4)、日中全面戦争の発端と成った盧溝橋事件の銃声一起。
- (5)、第二次大戦による捕虜や慰安婦の賠償問題。
- (6)、終戦当時、「天皇が直系かどうか」等と主張された貴社。
- (7)、教育勅語は、「軍國主義の復活」と主張されている貴社。

以上は、「闇の魔王」(歴史の白人優越論者)が、400年も前から日本攻略を覗見て果せざり、明治以降は、日本と朝鮮又中国との離反を策し、全ゆる謀略を盡しているが、その一端を示したものであつて、その本意には、驚嘆すべきものが有ります。

更には、現在進行中の世界中の紛糾は、「闇の魔王」の筆業によるものであるとの説解が宏びており、西欧各国間では、反対機運が台頭しつゝある点に就ておられます。

従つて、来世紀前半には、新しい平和な世界誕生が期待されるのではないかでしょうか。そう信じております。

11、添付物明細(切り振込)次の通り

- (1)、本又添付明細(12枚)
- (2)、別添付明細(7枚)

膨大な切り振込で、時間的に、整理不能となり、無責任ですが、未処理のまゝ添付致しましたので、悪しからず御容赦下さい。

12、総合

終戦当時より、貴社は、「闇の魔王」の網の中に入つたのであいかど、気が附つておられました。

然しながら、最近の橋本首相又小泉首相に対する露骨な表現での遠慮会議のない眞實体批判等異様なものを感じておりますが、何がどうぞれたのか判りません。矢張り「闇の魔王」ですか。

以上

(97)

創立10周年記念褒賞者名簿

(現会員で創立時参加者) 48名

現会員	氏名	誕生日	備考	現会員	氏名	誕生日	備考
(現会員 7名)				(由木 7名)			
7 織 大次郎	5			7 佐江 崇	5		
6 梅田 昭二郎	5			8 鈴木 民平	5		
4 大須原 静	2			4 木名瀬 秀雄	3		
3 橋場 政明	2			2 岸根 昭	3	新郎	
" 中島 義彦	初			" 麻田 順輔	初		
" 舟村 章	2			初	栗本 浩男	2初	
初 福庭 修	初			1 斎子好三	初		
(元会員 4名)				(北野 6名) (輪)			
6 山下 別久	6			6 中島 芳雄	4	v	
4 関 美佑夫	2			5 新保 光次	3	v	
" 増田 善一	初			4 飯田 攻	3	v	
2 高橋 重二	初			1 山本 金昭	3	v	
				13 佐 透	初	v	
(鬼方 1名)				1 水野 豊夫 初 v			
5 延平 和介	3	録	新郎				
(中野 5名)				(辰蹊 7名)			
6 木島 誠治	5			7 小川 勇	4		
4 山内 敏夫	3			6 小西 徹	6		
3 小田 二久	2			4 戸谷 審美男	初		
" 大本木 振	初			1 板井 豊	初		
2 牧 繁賢	2			3 山崎 修	初		
				1 石井 正之	3		
				新郎 伊藤 龍朗	新郎		
(大和田 5名)				(田井 4名)			
6 重谷 孝治	5			5 田井 進	5		
4 八木 敏光	2			4 福田 伸	2		
1 豊田 弘伯	3			3 斎田 健一郎	2		
3 露生 喜男	3			新郎 斎井 美一	新郎		
初 安田 漢	新郎						
(反川 1名)				(今野 1名)			
5 产野 敏光	2			2 今野 政治	新郎		

注二 感謝状は、臨時総会の当日、各会員さんへ一枚お渡し致しました。  
各回総会で、総務部より贈呈いたしました。

(10)